

平成25年度 第2回教育研究評議会議事録

日 時 平成25年4月17日（水）14時30分～17時58分

場 所 事務局大会議室、工学部大会議室

出席者 伊東、石井、碓氷、前田、柳澤、杉山、東郷、中野、鈴木、今野、寺村、平岡、梅澤、國宗、菅野、西原、酒井、藤井、増田、青山、塩尻、佐古、星野、中山、糠谷、河合、鳥山、永津、渡邊、田中、朴、高松の各評議員

欠席者 木村、三村の各評議員

陪席者 大戸、徳山の各監事
中村、佐藤の各学長補佐

I 議事録の承認について

平成24年度第11回教育研究評議会議事録（案）及び平成25年度第1回臨時教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 卓越研究者・若手重点研究者の選定について

碓氷委員から、卓越研究者・若手重点研究者制度の継続及び平成25年度以降の取扱いについて、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、本制度については、研究実績及びアンケート等により検証を行い、継続して実施する事が必要であると判断した旨の発言があった。

また、本制度に選考されなかった者に対する研究支援について、今後、検討していくこととした。

2 静岡市との包括連携協定の締結について

議長から、静岡市と幅広い分野において協力を行い、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする、標記協定の締結について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、5月10日（金）に静岡市の定例記者会見で発表し、5月13日（月）に本学で協定書締結式を実施予定であること、また、静岡市長による学生への講演会等を検討している旨の発言があった。

3 静岡大学名誉教授の称号授与について

推薦部局長から、名誉教授への推薦理由等について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 国立大学法人静岡大学学長選考会議委員の選出について

議長から、標記会議委員「教育研究評議会が選出する委員」のうち、荒川委員の退職（H25. 3. 31）に伴う後任の補充について、資料4により説明があった後、鈴木委員及び東郷委員から、選出された際は学部長であったが、本年4月から学長指名による副学長となったため、委員を辞任したい旨申し出があった。

議長から、欠員補充及び上記辞任の申し出により、静岡地区から1人、浜松地区から2人を投票により選出したい旨の提案があり、これを了承した。

投票の結果、静岡地区から糠谷委員、浜松地区から西原委員及び佐古委員を選出した。

5 教員の休職について

増田委員から、病気休職中の理学研究科准教授を、引き続き平成25年5月1日から平成25年5月31日までの間休職とすることの提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第1回企画戦略会議（H25. 4. 3）について、資料5により報告があった。

2 経営協議会報告について

議長から、第8回経営協議会（H25. 3. 25）及び第1回経営協議会（メール審議）について、資料6により報告があった。

3 国立大学法人静岡大学教職員就業規則の一部改正について

総務部長から、平成25年4月1日に施行された国立大学法人静岡大学教職員就業規則等について、資料7により報告があった。

なお、資料の一部について修正を行うこととした。

4 プロジェクトの検討結果について

財務施設部長から、平成26年度特別運営費交付金にかかる概算要求事項に関し学内公募を行い、応募のあったプロジェクトの検討結果について、資料8により報告があった。

なお、同部長から、4月下旬に学内ヒアリングを実施し、5月以降に文部科学省への事前相談を行いたいとの発言があった。

5 静岡大学の施設の共同利用スペースに関する要項について

財務施設部長から、標記要項に関する制定までの経緯及び要項の概略について、資料9により報告があった。

なお、議長から、同要項の運用については、各部局等の実態を踏まえ、部局長と施設マネジメント委員会との調整を行いながら進める旨の発言が

あった。

6 静岡大学の研究力の分析・評価と研究力強化の課題と方向性について

碓氷委員から、「静岡大学の研究力の分析・評価」、「研究力強化に向けた課題と方向性」について、資料10により説明及び今後の取り組みについて協力要請があった後、種々意見交換を行った。

なお、議長から、意見・感想をいただくと共に、課題となる点は、対応への提案をいただければ、より積極的な議論になっていくとの発言があった。

(意見交換で出された主な意見) △は執行部

○ この報告では、これまでの人件費削減による教育・研究への影響と、教員の人事計画等、今後の大学のマネジメントの方向性が見えてこない。

△ 本学の強みを顕在化していくことで、対応していきたい。

△ 今後の人件費のあり方、部局における教員人事の方向性については、再検討していく必要があることを認識している。

○ 課題や今後の取り組みについて、役割分担で対応していくのではなく、若手研究者の育成や教育・研究等を連携させながら、研究企画室を中心に精査していただきたい。

△ 大学の本質は、教育にあり、一方で研究の主導も、大学の果たす役割として求められている。

今回の報告では、本学の、国内での位置（私立大学を含む。）について、教職員が自覚しておく必要がある。

7 平成25年度静岡大学入試状況について

石井委員から、平成25年度入学定員に対する過欠員状況及び大学院入学者入学試験実施状況について、資料11により報告があった。

なお、同委員から、入学定員の圧縮について、工学部の改組による受験生の増加も踏まえ、必ずしも直ちに純減していくことなく、増加させていく工夫を検討していく余地があるとの発言があった。

8 平成25年3月卒業・修了予定者の進路状況について

杉山委員から、平成25年3月卒業・修了予定者の平成25年3月末現在の進路状況について、資料12により報告があった。

なお、議長から、就職状況の未確認者については、引き続き、各部局において情報把握に努めていただきたい旨の要請があった。

9 慶北大学校（大韓民国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記協定の更新について、資料13により報告があった。

10 スリ・ラマサミー・メモリアル大学（インド共和国）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、標記協定の締結について、資料14により報告があった。

11 教員採用等報告について

議長から、情報学部1件、国際交流センター1件の、教員採用等報告について、資料15により報告があった。

IV その他

4月から運用が開始された購買・出張申請システムに関する、入力上の問題点の報告と、システムに関する教職員への情報（アドバイス）提供の依頼があり、確認することとした。

以上